

敦賀半島

自然観察の手びき



は じ め に

私たちの郷土・福井県は、本州のほぼ中央にあり、様々な自然環境に恵まれています。自然は、私たちの生活と深いかかわりがあり、健康で文化的な生活を確保するためには、これを適正に保護し、後世に残していかなければなりません。

このため、県民一人一人が自然に対する正しい知識を深め、自然保護の精神を身につけることが大切です。

本小冊子は、この目的のため自然に接して、そのしくみや人間との関係について理解を深め自然に対する愛情やモラルを育てるために作成しました。

この小冊子を野外教育や自然観察などのガイドブックとして、活用していただければ幸いです。

平成元年3月

福井県知事 栗 田 幸 雄

目 次

はじめに	2
敦賀にまつわる百科	3
敦賀の民俗文化	5
敦賀半島の案内図	7
敦賀湾周辺の地質・地形	8
敦賀半島の岩石	10
気比の松原	12
白砂の海岸	14
立石岬	15
3つの海岸地形	16
離れ島	17
猪ヶ池(淡水の池)	18
鳥の名前を知るコツ	20
敦賀湾の海産動物(磯の動物)	21
砂浜にいる昆虫	26
敦賀半島の植物いろいろ	30
あとがき	35

敦賀にまつわる百科

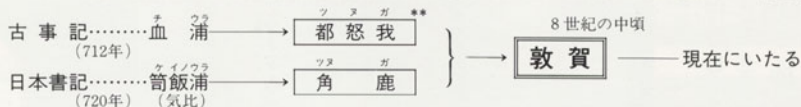
① 地名ルーツ……古代日本の三大門戸の1つ

* 博多・穴門(下関)



絹本着色
敦賀津図

内海元紀筆より
(1865年)



天平3年(731)越前国正税帳による

**

古代朝鮮(新羅・金官加羅)の貴人(最高官位^{スブルカシ}(角干)=日本の調ではツヌカ(ン)と呼ぶ=)である
意富加羅国の王子である都怒我阿羅斯等が筍飯の浦に上陸したことが発端といわれる。

② 敦賀と文学～芭蕉～

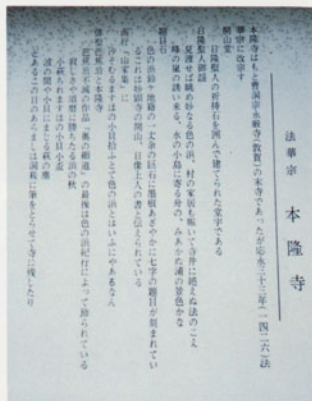
西行法師



小貝…千鳥真蘇柄貝
チドリマスオガイ

Donacilla picta
Dunker

二枚貝の仲間。ちど
りますおガイ科の一
種で潮間帯の砂地に
生息する。



芭蕉翁一夜十五句の中に『種の浜』と前書して記されている。

(敦賀での芭蕉句碑3本)

松尾芭蕉



1 金ヶ崎金前寺 境内に鐘塚と銘して宝暦二年(一七五二)白崎琴路が建立した。

月いづこ鐘は沈める うみのそこ

但しこの句は書物によって若干の違いがある

月いづこ鐘は沈める海の面 (大和紀行)

月いづこ鐘は沈める海の底 (白鳥集)

月いづこ鐘はしづめる海のそこ (四幅対)

月いづこ鐘はしづめて海のそこ (草庵集)



芭蕉翁鐘塚

2 氣比神宮 昭和三十一年建立

なみだしくや遊行のもてる 砂の露

3 常宮神社 建立年代不詳(現、石碑はあるが文字はよめない)

月清し 遊行のもてる 砂の上

氣比神宮にある石碑



常宮神社の石碑

角鹿津にして船に乗る時笠朝臣金の作る歌一首

万葉集 三六六(三六六)

越の海の角鹿の浜ゆ 大船に真梶貫きおろし

いさなとり海路に出てて あへきつつ わが漕ぎ

行けば 丈夫の手結が浦に海未通女 塩焼くけぶ

り草枕旅にしあれば独りして見る驗無み 海神の

手に巻かしたる玉襪 懸けて偲ひつ大和島根を

反歌

越の海の手結が浦を旅にして

見ればともしみ大和思ひつ

この他に万葉集 卷十二 三三〇〇

夫木和歌集 卷二十三 一〇三五六など

大昔の人々の気持で敦賀湾を思いはべってみては……

敦賀の民俗文化 —相生町(旧西町)の恵比寿・大黒の綱引き—

農業と漁業との豊年豊漁を願って綱引の勝負で、
その年をうらなう行事です。



慶長2年(1597)の銘ある恵比寿・大黒の2つの面が保存されています。
わらで作った魚など珍しいものです。



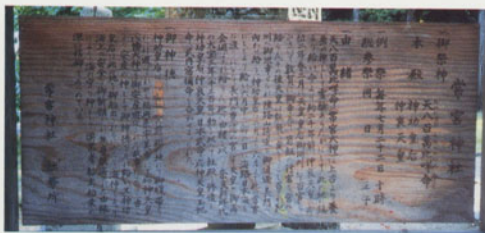


常宮神社

（天の
八百万
比咩命
神功皇后、仲哀天皇）を祭る

毎年七月二十二日

午前十時 例祭
午後 総参祭



氣比神宮



おたうまつり
御田植祭 6月15日

旧神領地である敦賀市津内の篤農家が奉仕し、古伝の田植唄をうたって行事する。



敦賀湾周辺の地質・地形

敦賀半島とその周辺の地史

新 生 代	第 四 紀	原子力時代 (有史時代の半島)	立石、丹生地域に 原子力発電所 松原公園 松原林時代	半島開発時代 気比の松原林 形成時代
		弥生人の生活	松原浜境に弥生遺跡	弥生時代
		縄文人の生活 縄文海進 大沈降運動	半島の谷深く、平野の 奥深く、海水が入って 谷底平野を形成 地かく運動によって大 地が沈んだり、上昇し たりして、多くの湾を 形成する	海成沖積層 扇状地、浜 境形成時代 半島形成時代 湾形成時代
	古 第 三 紀	半島に水晶や大 型の結晶(ウン モ、石英、長石) と放射性鉱物が できる	石英、巨晶カコウ岩 など、カコウ岩の間 から噴出して、水晶 などをつくる	噴入岩時代
中 生 代	白 亜 紀	半島大地形成の カコウ岩	日本列島、瀬戸内海、 中国地方全域に広が るカコウ岩とともに、 半島のカコウ岩もつ くられた	カコウ岩時代 古期岩類 (基盤岩)

地質のあらまし



ほとんど全半島がカコウ岩からできています。



水晶ヶ浜附近



遠望した常宮附近①

立石岬附近



水島附近

原電の排水口附近



遠望した常宮附近②



敦賀半島の岩石

①カコウ岩

カコウ岩には、主として石英・長石・（クロ）雲母の3つの鉱物（造岩鉱物）からできています。



脈岩（巨大な結晶のカコウ岩）



ペグマタイト
カコウ岩の方形節理



（豆知識）

カコウ岩の中に脈岩と呼ばれる帯状の貫入岩がみられ、水晶や大きな雲母などの結晶をつくっています。特にペグマタイト*と呼ばれる貫入岩は、大きな石英・長石の結晶が見られます。

（脈岩のできかた）

*（ペグマタイト10メモ）

P e g m a t i t e
ペグマタイト

- 主として長石・石英の巨大な結晶からなる岩石。
- カコウ岩に似ていて粒があら。
- 巨晶カコウ岩ともいう。

②その他の脈岩 ～安山岩～

（美浜町弁天崎）

カコウ岩中にある長石の風化が早いので、岩石の中では特殊な風化作用がみられます。

マサ土と安山岩の貫入



沓地区

一般にカコウ岩の風化した土を『マサ土』と呼んでいます。

カコウ岩特有の風化現象をマサ化現象といいます。



カコウ岩中の貫入岩

③変成岩とたい積岩 — 敦賀市弁天崎の野外観察 —

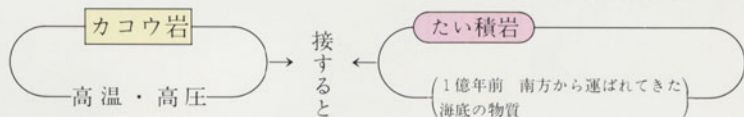


カコウ岩が見つかるかな？！

白・黒・紫などの岩石がiriまじっています。



しま模様の岩石が海岸線に一杯



せつしよくがん
弁天崎の接触岩

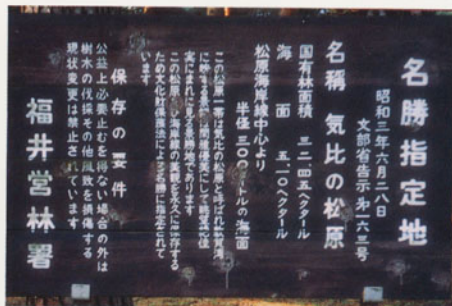


チャート・グリンストンがみられます。

たい積岩が大きく変質して……(カコウ岩が原因をつくる)

気比の松原 ～浜堤の景勝地～

* 海拔約6mまでの低いところを言う



雪の松原



気比の松原



小吹雪の松原



案内図

天候に関係なく松原海岸でたわむれる人達



浜堤は非常に細かい砂粒でカコウ岩からの石英粒が95%を占めています。



ゴミの中から芽生える植物

処刑地の掃かれてありぬ秋灯(とし)

中者正機

気比の浜^{はら}被ひ一湾の海開く

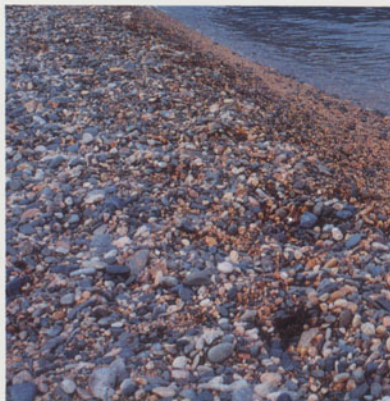
伊戸川勇石

武田耕雲斎(六二才)の辞世の歌

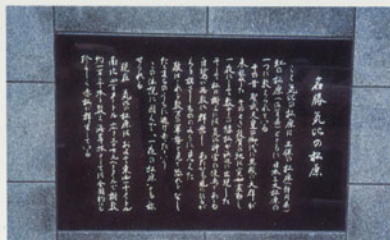
(一八六五・二・四)

討つもはた討たるもはたあれなり

同じ日本のみだれと思へば



まめつの多様化



白砂の海岸

敦賀半島の代表的な海岸は気比の松原・丹生の水晶ヶ浜で、その砂はカコウ岩の風化砂(石英砂)です。



水晶ヶ浜

青い空、
青い海そして
白い砂に緑の山々



気比の松原



砂あそびする少女



立石岬

敦賀半島の先端にある立石は近年まで“陸の孤島”[※]といって陸路では通行ができなかった。



潮害を防ぐための手づくりのさくを……

※昭和25年頃は自動車道は杳までしかなかった



石積をしながら……家をたてての集落



照葉樹スタジイの群落



そして、畑をなど……

これらはすべて自然環境に挑戦する生活の知恵を学びとろう!!

潮風の強い所の
森林の形に注目!!



ごろごろした巨大なれきの広がる海食だな

3つの海岸地形



白木の海食崖

(海岸地形3つのタイプ)

- 白木海岸……直立していて急な断崖
- 浦底海岸……海食だな
巨大な石が平らな基盤上にごろごろしている石浜
- 水晶ヶ浜・気比の松原
……長い砂浜

③ 1つの半島で、どうしていろいろな海岸のタイプができたのだろうか？



水晶ヶ浜



浦底の海食だな

④ 自然状態を次の点から考察しよう。

- 波の大きさ・海流の方向
- その地域の岩石の性質など
- その他（地質・地形のつくりや地かく運動より）

離れ島

～浸食され孤立した状態の水島



福井県・敦賀市は、水島のなくなるのを防ぐために懸命です。

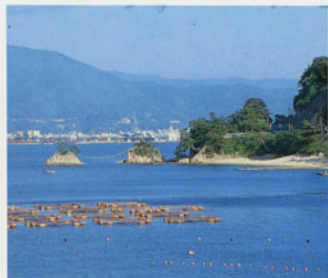


敦賀半島から遠望した水島

(水島のできかた1口メモ)

浦底湾をつくったとき、大地はかんぼつし、岬をつくり、やがて岬は切れて、現在の水島となった。

その間にはいくたの地殻変動や波による浸食作用によったのであろう。



敦賀市弁天崎の双子島

いの が いけ

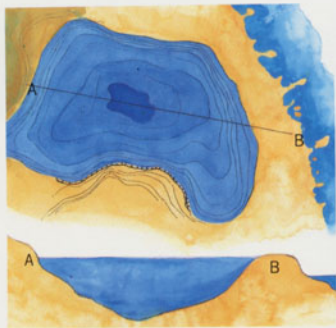
猪ヶ池(淡水の池)

猪ヶ池



(猪ヶ池 1 ロメモ)

- 蛇の池ともいいます。広さ 約 6,500㎡
- 猪之助(漁師)が、池にいた金きんの魚を食べた(池の魚は絶対採ることを禁止)ので、大蛇(池の主)がおこって帰してくれなかったとか、猪之助が、池の水を飲みに来て消えてしまったとか、いろいろ伝説があります。
- 池のほとりに八大竜王の祠が建っていて猪之助の墓石もあります。
- 池内調査報告が、報知新聞(昭51.8.18)に記載されています。



猪ヶ池の等深線図



猪ヶ池全景



1970年の猪ヶ池 (春季)



1988年 (秋季)

猪ヶ池野鳥園のご案内



猪ヶ池



我が国鳥から保護を要する鳥は、希少な鳥類と指定されておられ、鳥獣保護法に基づき保護されています。なかでも、この猪ヶ池および周辺の一帯は48ヘクタール、特別地域として、鳥獣の保護とは特別の注意が払われております。

また同時に、この湖沼は野鳥や動物の食糧として、昭和56年に鳥獣保護の特別保護地区に指定され、池や森林とすも鳥獣の保護が図られております。

この湖沼は、池や池に鳥獣をくさすなどの渡り鳥をはじめとする野鳥の憩いの場としての役割を、積極的に果たしていただこうとするものです。

このすぐれた自然をいっしょに楽しみ、野鳥や動物の保護とすため鳥獣のご協力をお願いいたします。なお、この野鳥園の設計に当たっては、昭和58年鳥獣保護法に基づき行われました。

日本原子力発電株式会社



猪ヶ池に集まる鳥たち(主なもの)		
	猪ヶ池周辺	海岸周辺
いつもいる鳥	 ゴイサギ カイツブリ アオサギ	 フシネコ セグロサシレイ イノビロドリ クロサギ
夏る鳥	 サシバ ツバメ	 コシギ イワツバメ
冬くる鳥	 キンクロハジロ ミコアイサ ハジロカイツブリ マガモ	 フシ ツグミ セグロモ

観鳥小舎より



(鳥にまつわる1ロメモ)

- ゴイサギ……………平家物語に記されている鳥で、醍醐天皇にゆかりがある。
- カイツブリ……………昔この脂肪を刀のさび止めに利用、古くから鳩といい、万葉集にも歌われている、におの海(びわ湖の別称)など話題が豊富。
- アオサギ……………日本でみられるさぎ科の中で最大、湿地・潟湖や干潟などで主に魚・カエル・ネズミなどをとる。
- サシバ……………松尾芭蕉の句にサシバの渡りをよんでいる。(鷹一つ見つけてうれしいらご崎)。夏鳥、わたしか科の中では最もよくビッキーと鳴く。
- キンクロハジロ……………目が金色で体は黒いという意味か？淡水の湖沼に群れをなして越冬し、もぐって貝・甲殻類をとる。ハジロ(羽白)とはつばさに白帯の出る海水カモ類の俗称。がんかも科の一種。
- ミコアイサ……………日本産では最小のアイサ、がんかも科の一種、入江や陸の湖沼で越冬し、もぐって小魚の他、甲殻類・貝・水生昆虫などをとる。

鳥の名前を知るコツ

さ…おす 早…めす

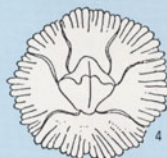
	な き 声〔飛び方〕	特 徴〔営巣〕	体 色	餌
さ ぎ 科	ゴイスザ 五 位 鷺 (平家物語 が出兵 俗名カスより大)	クワァッ、クワァッ (一しづつ区切る) black-crowned night-heron	〔ねぐらは林、果も樹上〕 他のサギ類と集団で繁殖することが多い 夜活動し、日中はねぐらですごす うすい青緑色 の卵を3～5個産卵	上面は緑黒色 下面は白色 足は黄色、くちばしは 黒色 魚・両生類 ザリガニ
	アオサギ 蒼 鷺 日本産サギ の仲間では 一番大きい	グアワー (しわがれの濁った声) grey heron	マツや広葉樹の頂部で集団で繁殖する 〔枯枝や太い枯草の茎を組合せて外径60～70〕 cmの大きな巣を平倉でつくる よくツルと誤認されやすい	くちばしは黄褐色 足は緑褐色 上面はうすく黒色がか った灰色 下面は白っ ぱい 頭・首は白 カエル・ヘビ・トカ ゲ・ネズミ 主として魚
わ し た か 科	サ シ バ 鵟 鳩 俗名ガラス ぐらい	ビッキー・ビュークイー (遠くまでびびく鋭い声) grey-faced buzzard eagle 〔はばたきとグライディングを〕 くり返して直線的に飛ぶ	〔アカマツやモミの高い枝に小さな枝を組ん〕 で営巣 青白色無斑の卵を4～3個産卵	上面は褐色で目立つ肩 斑がある 頬は灰色。 のどは白色～クリーム 色で中央に1本の黒い 縦線がある ネズミ・ヘビ・トカ ゲ・カエル・トノサ マバク・イナゴ・ ヤマユグ
が ん か も 科	ミコアイサ 神子秋沙 俗名カスより小	キッ キッ クッ	湖沼、大きな河川、海上などに生息	全体がほぼ白 くちばしや足は黒 小魚・甲殻類・貝・ 水生昆虫
	キンクロ ハジロ 金黒羽白	クック tufted duck	淡水の湖沼に群れをなして越冬する 水をけて助走してから飛び立ちばたきは速 い 羽白とはつばさに白帯の出る海水カモ類の俗称	頭の頸は紫色光沢のあ る黒色で後頭に冠羽が ある 上面は黒色で腹 わきは白色、くちばし は灰青色、足は灰黒色 早では全体が黒褐色 わき・腹はうす色 潜水して貝・甲殻類 水草などをとる
	カイツブリ 鴨 滋賀県鳥 ハトより小	キリリリリ、ケレレレ (大きな声) ビッ、ビッ (小さな声) little grebe	体は丸く つばさは短い 尾はとても短い 〔浅い水底で水草をつみ上げて営巣、 水面につかっている樹枝上に営巣すること もある〕 4～6個産卵	夏羽と冬羽とはちがう 眼は黄色～赤褐色、 くちばしは黒く先端が 白色 水生昆虫 貝・魚
つ ぶ り 科	ハジロ カイツブリ 羽 白 鴨 SMEW (eared grebe) ハトぐらい	ブイッ ビー black-necked grebe (eared grebe)	海岸、河口、湖沼などに冬鳥として渡来し生息 する	冬羽と夏羽とはちがう 冬羽は上面が黒褐色で 下面は白っぽい くちばしは黒っぽくや や上にそっている 夏 羽は全体が黒色 わき は赤褐色 目の後方に 金色の飾り羽がある 水生小動物

(フジツボ 1 ロメモ)

名の由来 フジツボは藤壺・富士壺と漢字で書くが……藤壺は源氏物語にでてくる藤壺と解釈したら(こじつけかも知れませんが)……その理由は、もともとフジツボは雌雄同体でとなりが雄(♂)とすればこちらは雌(♀)として受けいれてくれる。それがまるで、光源氏が桐壺・藤壺などへ遊びにいくのとよく似ていることから名づけたらしい。しかし一般的には、富士山のようないろんな形をしていて、つばのように上が死体になると開口しているから名づけたと言われている。どちらの説をとるかは、読者の自由です。



2はミジンコ
3はエボシガイ } 似ていませんか。



▲フジツボの生活史。1：ノウプリウス幼生 2：キプリウス幼生 3：変態しはじめたキプリウス幼生 4：若いフジツボ

形 殻の口から6対の蔓のよう
な脚をくまでのように広げて出
したりひっこめたりします。

*蔓脚類と言って水中のプラン
クトンを集めて食べる。

仲間 カメノテ、エボシガイ
など

本県産にはオオアカフジツボ、
サンカクフジツボ
シロスジフジツボ
など

こんな所でも海の動物に出くわす!!

嵐のあと、台風の通ったあとなどは海岸へ行くのも採集のコツ
イガイと海綿、二枚貝がいる。 アッ! ガラス! 危険!!



(敦賀市名子) 姿を消す船小屋

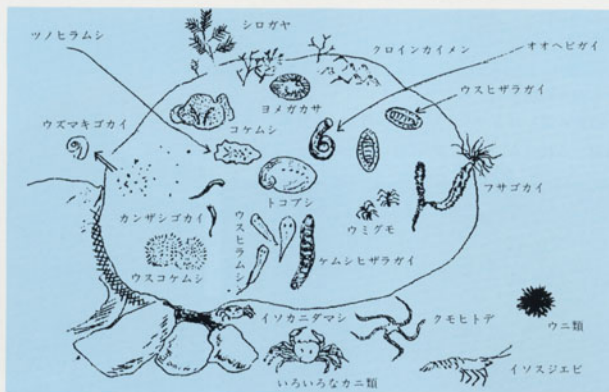
〈手近な採集場所〉

船の中、船小屋、漁港、網干し場、船つ
き場など
たこつばのような漁器の中や外壁

A. れき浜——転石の場合

区分	 転石	 砂レキ	 シルト H.S (硫化水素がでる)
主に生息する動物	ホヤ(原索) コケムシ(触手) カイメン(海綿) カンザシゴカイ(環形) ウスヒザラガイ(軟体) ヨメガカサガイ(軟体) クボガイ(軟体) クロツケガイ(軟体) イシタダミガイ(軟体) など ヒラムシ(扁形) ヤドカリ、イソガニ(節足) イトマキヒトデ(棘皮) バフンウニ(棘皮)	ゴカイ(環形) フサゴカイ(環形) イソカニダマシ(節足) ムラサキクルマナマコ(棘皮) クモヒトデ(棘皮) ウロコムシ(環形) ホシムシ(星口) アサリ(軟体) ケマンガイ(軟体)	フネガイ(軟体) イソギンチャク類(腔腸) ケヤリムシ(環形) ミズヒキゴカイ(環形) (シルト (Sil t) とは砂と粘土との中間の細かさをしている土……砂泥。)

B. 岩石でみられる磯の動物



1. 岩かげと岩の表面とをくらべる(ついている動物がちがう)
2. 岩のわれ目をしらべる(動物のかくれ場所にもなる)
3. 石をおこしてうら側をしらべる(しらべたあとの石はもとの場所にかえす)
4. 巣をしらべてみる
5. はって動くもの、飛びはねるものには注意する。
6. 海そうの根もとを注意深くしらべる(1株に10種類以上いることもある)
7. 石・岩をこわしてみる(石・岩の中で穴居生活をしている)
8. 海そう・石などを動かしたときは、じっと観察する。必ず動くものに注意する。
9. 採集日の干潮時をしらべて、それにあわせて採集するといふ。

③砂浜での穴居動物の採集のポイント

乾いた砂 ⑥ 乾いた砂

湿地

湿地

乾いた砂をできるだけ
静かに穴の中へ流しこむ

乾いた砂 乾いた砂

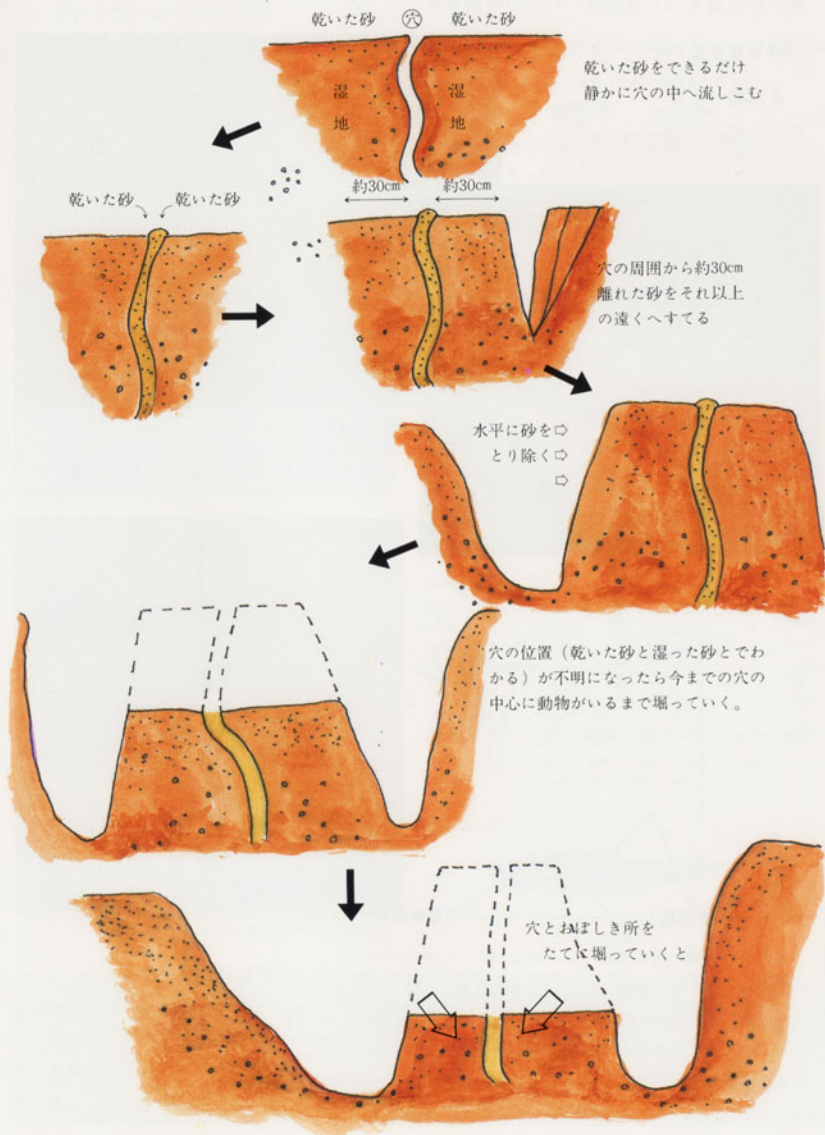
約30cm 約30cm

穴の周囲から約30cm
離れた砂をそれ以上の
遠くへすてる

水平に砂を□
とり除く□
□

穴の位置（乾いた砂と湿った砂とでわ
かる）が不明になったら今までの穴の
中心に動物がいるまで掘っていく。

穴とおぼしき所を
たてに掘っていくと



砂浜にいる昆虫

砂の中に巣をつくる昆虫(ハチ)の生活をさぐろう!!

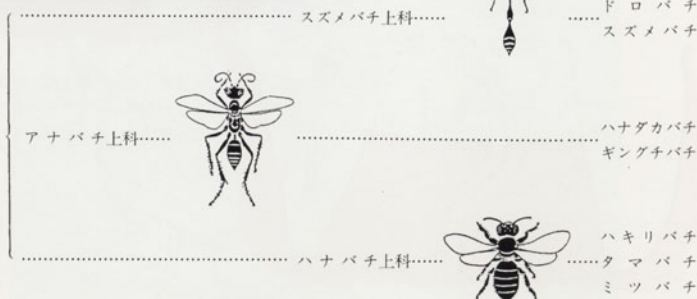
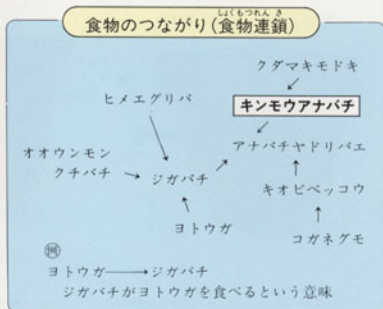
① 狩りをするハチ —— キンモウアナバチ

A) 巣づくり

巣の穴掘り

あし 肢で砂をかきだしトンネルの中の砂は口でくわえて穴の外へ出す。

キンモウアナバチ



(豆知識)

(昆虫の巣作り)

- 竹づつ・物の凹を利用.....ドロバチ、ハキリバチ
- 樹木の根もと・建物.....スズメバチ、クマバチ、ミツバチ
- 裸地(草木のない土地).....ツチスガリ、ハナバチ、ジガバチ
- くさった木・草茎のずい.....ギングチバチ、ツヤハナバチ
- 砂地(で巣をつくる).....ハナダカバチ、クロアナバチ、キンモウアナバチ

B) 産卵

キンモウアナバチはその幼虫の餌にするため、クダマキモドキ (*Holochlora japonica*…きりぎりす科) 類を狩ってから砂の中にうめる。



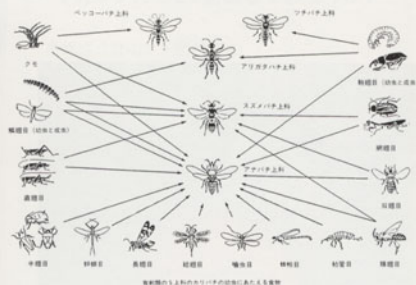
クダマキモドキの胸部に産卵する



キンモウアナバチの幼虫



幼虫はクサキリ類を食べて成長する



クサキリの成虫

(クサキリ1ロメモ)

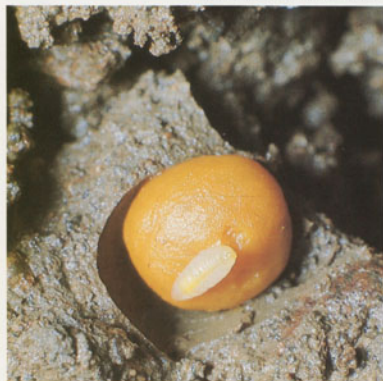
- 体長26～32mm(カマキリよりはずっと小さい)
- 畑地・低い木の上でよくみかける。ひげはむち状で長い。複眼は余り大きくない。
- 耳は前肢のすねのつけねにある。夏ジーンと強く鳴く。
- ふつう、余りとはないが、とぶと長いきょりをとぶ。

②花粉を集めるハチ ウツギヒメハナバチ *Andrena prostmias* PÉREZ



ウツギヒメハナバチの巣口

花粉団子でふ化した幼虫



トンネルの先端^{いくばう}に育房をつくる。ウツギの花粉を集めて花粉団子をつくり、育房で、その花粉団子に産卵する。

(ウツギヒメハナバチ 1 ロメモ)

- ひめはなばち科の一種でウツギの花に集まる体長10～13mm、裸地に巣をつくるために掘りだした土をもちあげます。その結果山ができます。ミツバチ *Apis mellifera* の仲間です。
- 沖なわ、北海道を除く日本各地で見られます。
- 名の飛ぶ活動は日照時の早朝に最盛期があります。
- 巣口の増設は名により数多く行われます。



平嶋による

(原色昆虫大図鑑・平嶋による)
(ウツギヒメハナバチ)

ウツギの花



開花5～6月

山ろくに多いかん木



(花粉団子 1 ロメモ)

- ウツギの花粉と蜜および親バチのだ液で作ります。
- 花粉はタンパク質で蜜は炭水化物です。
(たんすい か ぶつ)
- 後脚に生えている毛に花粉をくっつけ
(うしろあし) 巣に運びます。
(但し、このハチにはスコバ=花粉取
(か ふろしやう) 集毛=はない)



花粉団子をほとんど食べつくした幼虫

(気づいたこと、記録しておこう!!)

休眠中の終令幼虫



育房の中で蛹となる約10ヶ月間この姿で翌年の5～6月頃(ウツギ開花)まで土中で待っています。



羽化した雄ハチ

敦賀半島の植物いろいろ

西方ヶ岳 登山道のアカマツ

気比の松原



サルトリイバラ

(サルトリイバラ1ロメモ)

- 蒺藜と書く。猿捕り茨で、角質の刺があってそれに猿がひっかかるという意味です。
- ゆり科の落葉低木。雌雄異株。
- 黄緑色の小さな花を多くつけます。
- サンキライ(山帰来)……俗称
- 果実は紅色で食べられます。根は漢方薬にします。

ブナ林の下生え植物オオバクロモジなど



海拔450~500m



ブナ林

トベラの果実



海拔600mのブナ林

美浜町弁天崎

クリ林(栗林・久利林)ぶな科の一種。野生種はシバグリという。



西方ヶ岳



カコウ岩とアカマツ

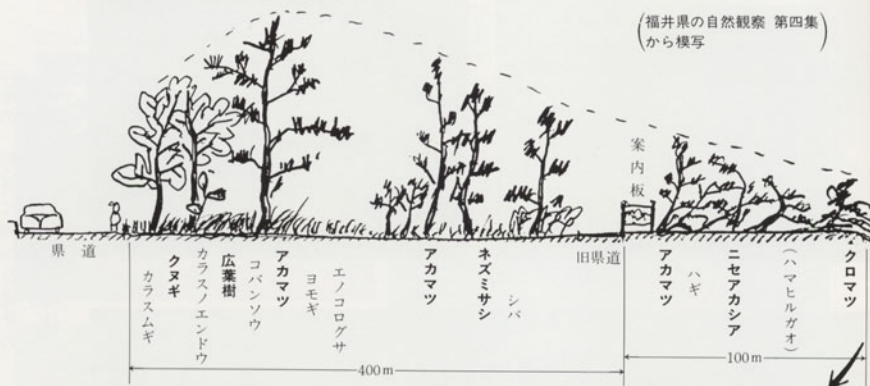


さざえヶ岳頂上

三栗の
那賀に向へる
絶えず通はむ
そこに
妻もが
高橋 虫磨歌集
(九一七四五)

気比の松原における植生の模式図

(福井県の自然観察 第四集)
から模写



ハマヒルガオの群落



土の中に根をはる樹根が自然の護岸となる。
樹根コンクール作品？

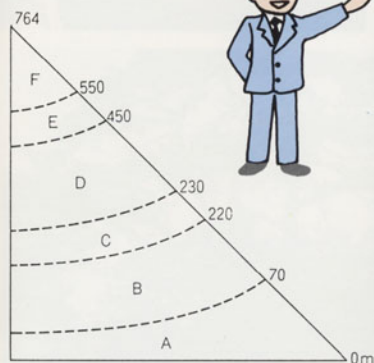
根形から何か想像できませんか？



五月頃にうすむらさき色Ⅱ藤色Ⅱの花がさく。
三十センチ余の房状でたれさがります。

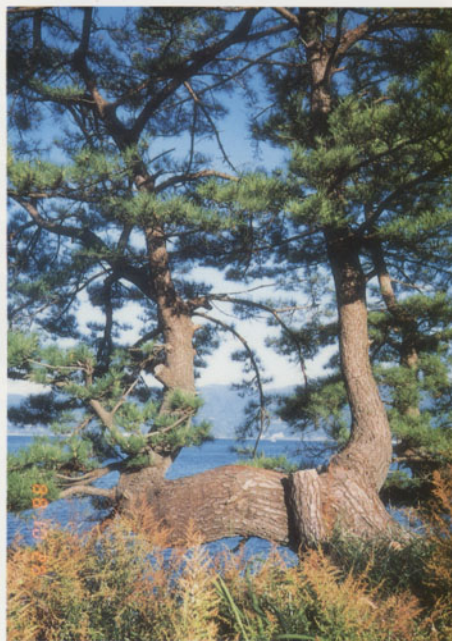


よくまあこんなに1本の木から個性豊かに成長したもんね。



西方ヶ岳における森林植生帯
〔敦賀市史より〕

A	アカマツ林	D	コナラ ミズナラ林
B	スダジイ林	E	ミズナラ林 イヌブナ林
C	コナラ林	F	ブナ林



気比神宮のユーカリ



(ユーカリ1口メモ)

- 花は真夏に開く。葉からユーカリ油をとり、薬用にする。
- 日本には明治8年(1875)頃渡来したのが始まり。戦後一時ユーカリの植林が流行した。
- 日本のはグロブルス。
チャールズ・ダーウィンの観察したのはブルーガム。

あ と が き

私たち人間は、自然界の一員にすぎず、自然の恩恵によって生かされてきました。

同じように、私たちの郷土文化も、そのすべてが自然環境によって支えられ、育ってきました。

多忙な日常生活の中で、ともすれば忘れがちなこの大切なことを、この小冊子によって思い起こしていただければとおもいます。

この小冊子は、(1) 自然環境と私たちの生活との結びつき

(2) 自然の威力・無尽蔵な未知の世界—自然探求の面白さ

などに留意して作成しました。

この小冊子が、読者一人一人の自然観をたかめ、少しでも郷土の自然を大切にし、これを守り、育てる活動につながれば編集者として、これにすぐるものではありません。

なお、前年度に出版した3冊の反省にたって、県民の皆さん・読者の方々のご期待に応えるよう努力したつもりです。

(企画・編集 伊藤十治)

敦賀半島・自然観察の手びき

平成元年3月発行

資料・執筆	伊藤政昭 斎藤寛昭 奥野 宏 伊藤十治 (福井県自然環境保全調査研究会)
発行	福井県県民生活部自然保護課 〒910 福井市大手3-17-1 TEL (0776) 21-1111
印刷	若越印刷株式会社

この本は福井県自然保護基金によって作成されました。



水晶ヶ浜

